# 地域支援員　新聞

2月号
2020.2.10

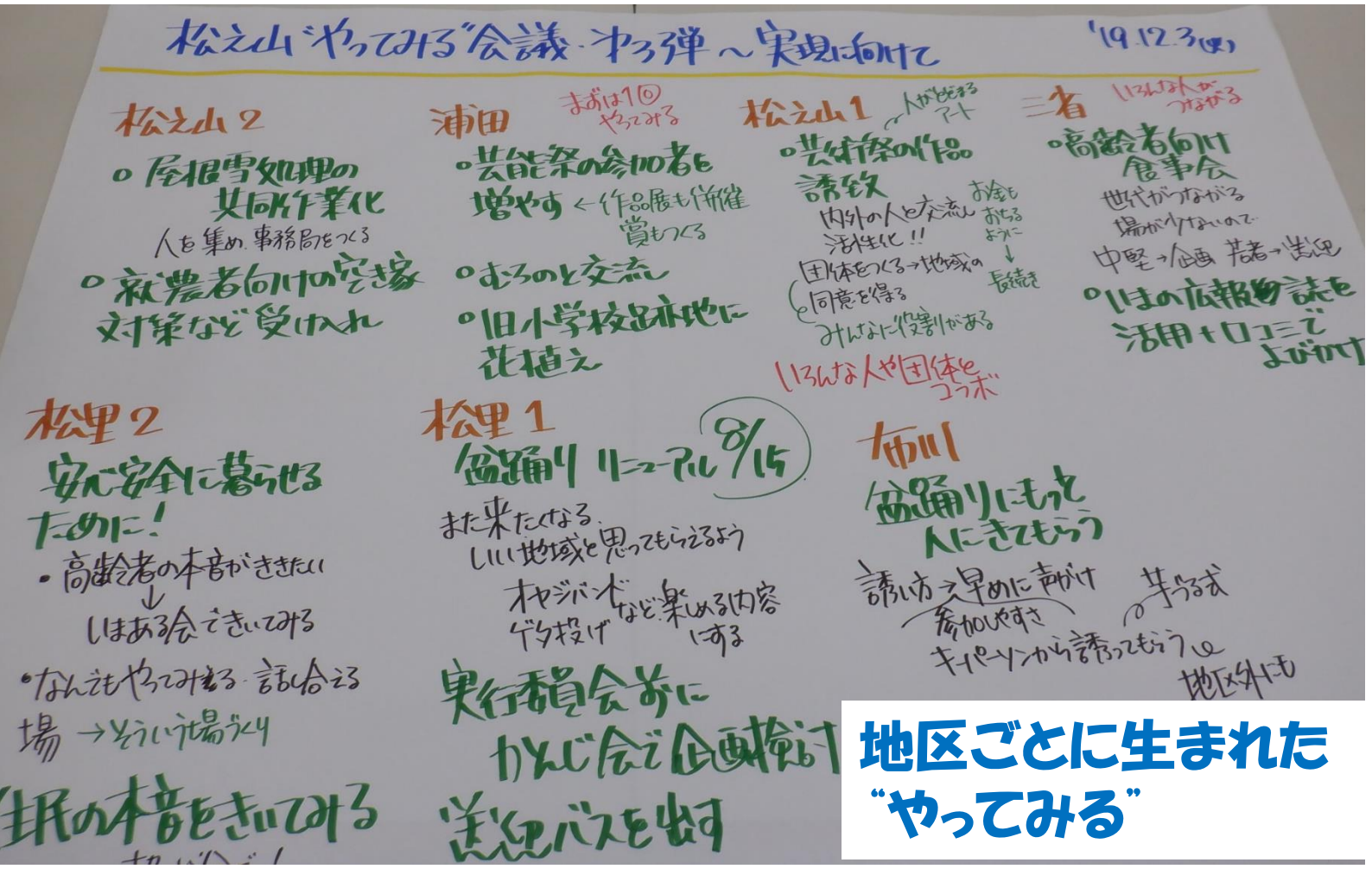
## “やってみる”の実現に向けて

「やってみる会議」(2019年12月までに開催された地区ごとの話し合い）で生まれた取り組みを是非実現しよう！という、「話し合い」がはじまっています。

各地区からは「是非実現したい」という声を聞いています。どんな形で“やってみる”が実現されていくのか、楽しみですね。

以下の地区・集落では、支援員が「話し合い」のお手伝いに入らせていただいています。ほか地区は地区協議会内での「話し合い」を進めているようです。

〇松之山地区：芸術祭作品を軸とした交流による地域活性化
〇天水越集落：安心安全で暮らしやすい地域づくり
→ どちらも地域内の関係者との調整や話合いの段取り等をさせていただいています。




**地区ごとに生まれた“やってみる”**

## おしらせ

棚田地域振興法の取組みが令和２年度より始まります。棚田地域振興法を活用して地域振興を図りたい、などの「話し合い」支援も行っていく予定です。
支援員本山までお問い合わせください。

## Q 地域支援員は今どんな活動をしているの？
## A「話し合い」のお手伝いをしています☆

　住民が主体となった新しい取り組みをしたい、だけど、何から話し合いを進めたらいいのかわからない、取組みに見合う助成金を見つけることや関係機関との調整に困っている、そんなことのお手伝いができます。

　地区、集落に限らず、地域内団体などの組織のあり方検討などの「話し合い」のお手伝いもできます。お気軽にお問い合わせください。

**お問い合わせ**


**十日町市役所松之山支所**
**地域支援員　本山・佐藤**

☎　596-3131
FAX　596-3515


　たとえば、「人口減少や少子高齢化が全国平均よりも県内平均よりも市内平均よりも早く進行している！そんな松之山地域における人口維持や地域課題解決のため、よりマッチング度の高い移住者を呼び込むため、ミッション型の協力隊を単独集落で受け入れたい！」という声が、地域の方から上がりました。

　現在のところ、協力隊の受入れは複数集落に携わることが前提です。そこで、市役所の担当部署への問い合わせや調整等を支援員がお手伝いすることになりました。

※行政や自治振興会に対しての「～してほしい」という要望にはお応えできません。

## 2020年度活動予定 地域支援員の

　**人口減少も少子化も高齢化も進行していきますから、「少ない人数でも安心安全に暮らすための地域づくり」、人口を維持し、地域内の担い手を確保するための「移住定住推進と担い手育成を兼ねた取り組み」などの「話し合い」のお手伝いをしていきます。**

　**また、新しい取り組みを生み出すばかりが地域づくりではありません。人口減少や担い手不足に応じた「組織や行事などの再編」なども“やってみる”の取組みの一つです。**

　**地域みなさまには「話し合い」へのご協力をお願いすることがあります。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。**

## 松之山町史を読み解きながら

　松之山地域は縄文時代から人が住んでいた歴史があることはご存知ですか？また、この地域は「松山保」「松之山郷」などと称されたり村や町となったりした時代を経て、現代においては「十日町市松之山」となりました。

　町史を読み解きながら感じるのは、どの時代においてもその時代なりのご苦労があったのだということです。それでもご先祖様はこの松之山を選び住み継いできました。

　さて、住民アンケート結果からは住民の多くが松之山の暮らしに愛着がある、だけど暮らしへの不安がある、そんな課題が見えてきました。これからの時代を“住んでいる人が幸せ”な地域にしていくための取り組みについて、一緒に「話し合い」や「取組み」をしていきませんか？